



“たいせつ”がキョツと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社

HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号

<https://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2020年6月30日

神戸三宮駅2番線ホームにおける可動式ホーム柵の設置について

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：秦雅夫）では、駅ホームからの転落事故等を防止する対策として、神戸三宮駅の1番線ホームと3番線ホームについては、2021年春頃の完成に向けて可動式ホーム柵の設置工事を進めておりますが、この度、2番線ホームにも可動式ホーム柵を設置することとなりましたのでお知らせします。

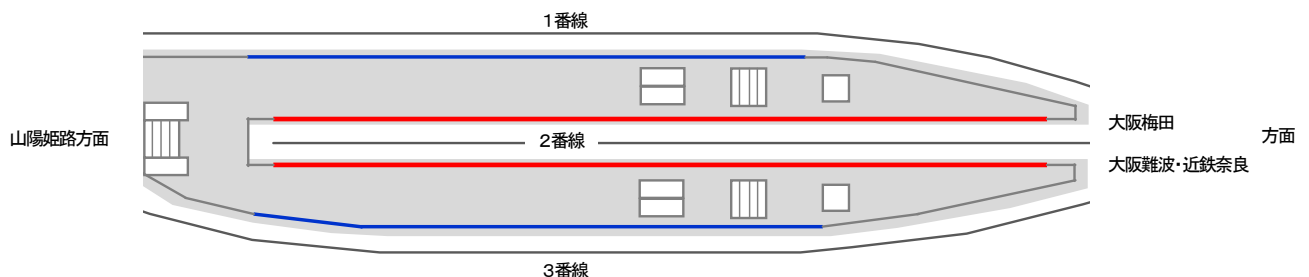
なお、2番線ホームは本年度から工事着手し、2022年春頃の完成を予定しております。工事期間中は大変ご不便をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

概要は以下のとおりです。

1. 設置箇所

本線 神戸三宮駅（神戸市中央区小野柄通8丁目1番8号）

- ・1番線ホーム（大阪梅田方面ゆき）及び3番線ホーム（山陽姫路方面ゆき）
- ・2番線ホーム乗車側（大阪難波・近鉄奈良方面ゆき）及び降車側



<設置計画図>

2. 可動式ホーム柵の内容

- ・1番線ホーム及び3番線ホーム：大開口(二重引き戸)型、一部の範囲は従来(一重引き戸)型
- ・2番線ホーム乗車側及び降車側：昇降ロープ式

※2番線ホームは阪神車両と近鉄車両が停車し、両社の車両の長さ及び乗降扉数が異なるため、既存の可動式ホーム柵の設置が技術的に困難でありましたが、設置に向けた検討を続けてきたところ、この度、新たに改良された昇降ロープ式ホーム柵であれば設置可能と検証できたことから、1番線ホーム及び3番線ホームに続いて設置することとなりました。

3. 設置時期

- ・1番線ホーム及び3番線ホーム：2021年春頃に完成予定
- ・2番線ホーム乗車側及び降車側：2022年春頃に完成予定



< 1番線・3番線ホーム：引き戸型ホーム柵の設置イメージ >



< 2番線ホーム：昇降ロープ式ホーム柵の設置イメージ（阪神車両停車時） >



< 2番線ホーム：昇降ロープ式ホーム柵の設置イメージ（近鉄車両停車時） >

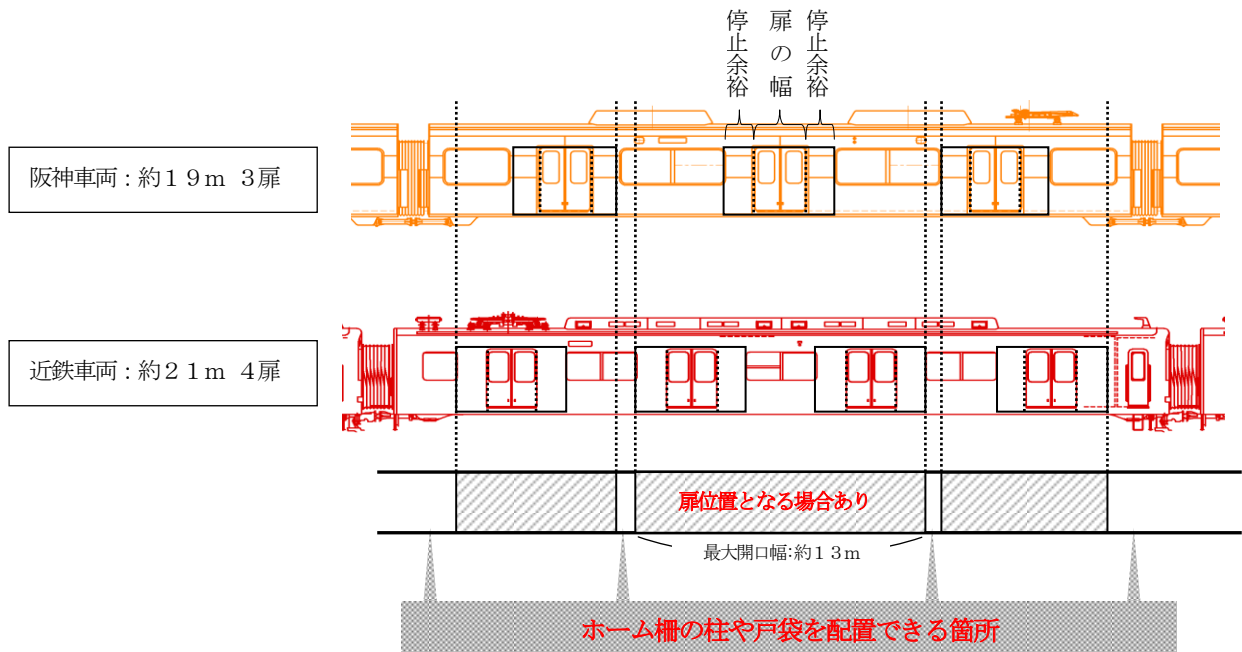
以 上

ご参考

2番線ホームにおける昇降ロープ式ホーム柵の設置について

2番線ホームに停車する阪神車両と近鉄車両については、車両長が阪神車両は約19m、近鉄車両は約21mであり、乗降扉数が1車両当たり阪神車両は3扉、近鉄車両は4扉であるため、同ホームに可動式ホーム柵を設置する場合に必要なホーム柵の開口幅は最大約13mとなります（下図参照）。ところが、1番線ホーム及び3番線ホームに設置する引き戸型ホーム柵は対応できる開口幅が最大約4mであり、また昇降ロープ式ホーム柵であっても対応できる開口幅は最大約10mであるなど、既存の可動式ホーム柵では技術的に設置が困難でした。

しかしながら、新型ホーム柵等の設置の可能性を継続して検討してきましたところ、この度、昇降ロープ式ホーム柵で、ロープの素材が新たにカーボンストランドへ改良されたものであれば、開口幅が最大約13mであっても対応可能であり、ホーム柵の柱も問題無く配置できることが検証できたため、1番線ホーム及び3番線ホームに続いて2番線ホームにも設置することとしました。



< 2番線ホーム停車時の扉位置イメージ >